



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆ 希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

令和5年9月1日 NO.5

042-541-2940

創立44年目(昭和55年開校)

自分を成長させよう

校長 前川 法彦

41日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。気持ちを切り替え、自分の目標に向かって充実した学校生活を送ってほしいと思います。また、多くの3年生が部活動から離れ、新チームで目標を決めてスタートしたのではないのでしょうか。2学期は、様々な行事もあり、学級や学年の団結が必要になる機会が多くあります。体育祭のときに体験した、団結力が行事を成功させるためのエネルギーになり、本気で取り組んだ分だけ皆さんの成長につながります。2学期を充実したものにできるかは、皆さん自身の行動が大きく関わってきます。そこで、外国に伝わるたとえ話を紹介します。

靴を売る会社に、AさんとBさんという2人のセールスマンがいました。

この2人が勤める会社は、別々のライバル会社です。

あるときこの2人が、遠く離れた島に靴を売りに行くことになりました。

長い時間をかけて島に付くと、2人にとって予想外の状況が待っていました。

それは、その島の人たちは皆、靴を履いていなかったのです。

その様子を見たAさんは、とても落胆して会社に報告しました。

「大変なところに来てしまいました。私たちにとって、全く用のないところです。ここでは、靴は売れません。島の人々はみんな裸足なのです。」

一方のBさんは、とても喜んで会社に連絡をしました。

「素晴らしいところへ来ました。ここでは誰も靴を履いていません。靴のよさを教えたら、たくさんの靴が売れます。急いであるだけの靴を送ってください。」

この話を読んで、何を感じたのでしょうか。

同じ状況であっても、Aさん・Bさんは全く違う考えをもち、全く違う行動を起こすということになることです。

学習や部活動、行事が予定通り進まなくなってしまった話は、聞いたことがあると思います。しかし、大変な中でも前を向いて頑張っている人はたくさんいます。考えてもいなかったことが起きたとき、諦めないで、工夫したり努力をしたりしながら道を切り開こうとする人たちの取り組みから、元気と勇気が湧いてきます。皆さんは、「思うようにいかない」「なかなかできないと感じたとき、どのように進んでいくのかは、自分の「心」が羅針盤になると思います。前に進もうと頑張った先には、「自信」がついた自分、「成長」した自分がいるはずです。

ぜひ、2学期の学習や行事、部活動に前向きに取り組んで、充実した2学期を過ごしていきましょう。

